

行政視察（研修）報告書

【会派名：新政・結の会】

行政視察 （研修）名		新政・結の会研修（東京都千代田区永田町）	
会派・参加者名		新政・結の会 参加者：山科正仁 山科春美 佐藤卓也 小嶋富弥 小野周一 高橋富美子 渡部正七 辺見孝太 鈴木啓太	
期 日		令和 6 年 6 月 2 8 日（金）～ 6 月 2 9 日（土）	
①	日 時	6 月 2 8 日（金）午後 1 時 1 5 分～2 時 3 0 分	
	視察（研修）先	東京都千代田区永田町 2 丁目 2 － 1 衆議院第一議員会館 地下会議室	
	調査項目 及び内容	研修項目	子ども・子育て支援について
		研修概要	子ども・子育て支援について 説明者 こども家庭庁 長官官房参事官付 少子化対策室長・少子化対策企画官 中原 茂仁 氏 企画調整係 藤田 晃士 氏
		質疑意見交換所	【質疑・意見交換】 ①給食費の無償化について 文部科学省で一律無償化について検討しているが、弁当制の学校に新たに給食導入が必要になることや一律により給食の質が落ちる自治体が発生する可能性があることなど、一律ですべきことと独自で対応すべきことの課題整理が必要 ②こども大綱における目標値について 「自国の将来は明るい」と思うこども・若者の割合の目標値（55%）が他項目より低い理由は、現状値（31%）から諸外国の平均値（52. 5 %）程度までを当面の目標値にしている。希望的目標値よりも実態に即した数値目標としている。 ③こども未来戦略について 2023 年 12 月に決定したこども未来戦略加速化プランは 2024 ～2026 にかけて実施していく。

		【所感】 こども家庭庁の役割、こども基本法の概要、こども未来選択「加速化プラン」等について説明を受けた。各種支援内容に加え、その背景や課題など全国各地の事例を交えた内容であった。少子化対策の課題は、全国一律なのか、特定の地域のみなのか、あるいは都市部と地方の違いによるものなのか多様な課題があると感じていた。また、支援内容については全国一律の政策を定めることが困難な部分もあると感じた。課題が地域ごとに多種多様なため、全国一律のものと自治体特有の課題を解決するためのものと整理して展開できれば、より効果的になると感じた。
--	--	--

②	日 時	6月28日(金)午後3時00分～ 午後3時30分	
	視察（研修）先	東京都千代田区永田町1丁目6-1 中央合同庁舎第8号館内 こども家庭庁 大臣室	
	調 査 項 目 及 び 内 容	項 目	内閣府特命担当大臣 加藤鮎子氏への要望書の提出
		概 要	子ども・子育て支援制度の充実についての要望書の提出 要望書提出先 内閣府特命担当大臣 こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画 女性活躍担当大臣 共生社会担当大臣 孤独・孤立対策担当大臣 加藤 鮎子 氏
		質 疑 意見交換 所 感	【内容】 人口減少が続く中、子ども・子育て支援を充実させ、持続可能なまちづくりを進めることは全国自治体の共通課題であり、自治体間格差が生じることのないよう、国の制度として実施する取組の充実とともに、地域の事情に応じて独自に実施する取組への支援が必要であるため、次の項目について要望を行った。 1. 豪雪地帯における子育て環境整備 （1）屋内児童遊戯施設への支援 2. 保育士の処遇改善と保育の充実 （1）地方の保育人材確保に向けた処遇改善

			3. 子育て世帯への経済的支援の強化 (1) 保育料無償化の対象拡充 (2) 学校給食費の無償化の実現
--	--	--	---

③	日 時	6月29日(土)午前11時30分～午後2時30分	
	視察(研修)先	東京都千代田区平河町2丁目4-3 ルポール麴町	
	調 査 項 目 及 び 内 容	調査項目	新庄ふるさと応援隊交流会への参加
		調査概要	新庄を応援していただいている方々との意見交換
		質 疑 意見交換 所 感	【所感】 新庄藩戸澤さまご夫婦や観光大使である作家の今村翔吾さん、元NHKアナウンサーの山本哲也さんをはじめ、多くのご来賓と会員の皆さまが参加し会場は大盛況でした。交流会では新庄にふるさと納税などで寄附をしたいが、インターネットが得意ではなく、敬遠してしまうなどの声が聞かれ、有難く感じるとともに寄附への課題も感じました。 来年は新庄開府400年、新庄まつり270年の記念の年であり新庄で開催したいとのことでしたので、新庄ふるさと応援隊の皆さまと新庄で再開できることを楽しみにしています。

写真等

①



③

